

令和5年度男女共同参画推進プラン 指標値報告書

基本目標	指標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
1-1	「男女共同参画社会」という言葉を聞いたことがあり、内容も知っている住民の割合	34.6%	—	—	—	—	—	42.9%	政策企画課
取組実績			今後の取組						
1	男女共同参画社会をはじめ、関連用語の認知度を上げるため、広報紙に連載している男女共同参画啓発コラムや町公式ホームページでの発信、男女共同参画週間イベントや男女共同参画コーナーを利用して、啓発活動を行った。（住民アンケートは次期計画策定時のR6に実施予定）		男女共同参画に関する取り組みや関連法令について、広報紙や町公式ホームページでの発信、男女共同参画週間イベントや男女共同参画コーナーを利用して啓発活動に取り組む。						
基本目標	指標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
1-1	「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方に同感しない住民の割合	35.6%	—	—	—	—	—	44.0%	政策企画課
取組実績			今後の取組						
2	性別による固定的役割分担意識の解消のため、小中学校において、男女平等に立った人権教育の推進を図るとともに、男女共同参画の視点に立った講座などを実施した。（住民アンケートは次期計画策定時のR6に実施予定）		性別による固定的役割分担意識の解消のため、男女共同参画の意識の啓発活動や人権教育や学習活動を推進する。						
基本目標	指標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
1-1	社会全体で男女の地位が平等になっていると思う住民の割合	12.9%	—	—	—	—	—	13.1%	政策企画課
取組実績			今後の取組						
3	行政での各種審議会等への女性の参画の促進や、広報紙、ポスター、チラシなどによる男女共同参画に関する町民の意識啓発を行うとともに、次世代を担う子どもたちに対する人権教育として、小中学校において男女平等の視点に立った学習を実施した。（住民アンケートは次期計画策定時のR6に実施予定）		男女の地位の平等の意識を育てるため、男女共同参画の意識の啓発活動や人権教育や学習活動を推進する。						
基本目標	指標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
1-3	「DV防止法」という言葉を聞いたことがあり、内容も知っている住民の割合	60.4%	—	—	—	—	—	65.0%	政策企画課
取組実績			今後の取組						
4	配偶者や恋人など親密な関係者間での暴力に関する基礎知識を認識していただくため、男女共同参画週間や月間イベント、広報紙、町公式ホームページ等により、DV防止法の内容やそれに係る用語についての啓発活動を行った。（住民アンケートは次期計画策定時のR6に実施予定）		暴力根絶に向けた意識づくりのため、広報紙や町公式ホームページでの発信、男女共同参画週間イベントや男女共同参画コーナーを利用して啓発活動に取り組む。						
基本目標	指標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
2-1	審議会などへの女性委員の登用割合	25.3%	27.5%	28.3%	30.1%	29.2%	28.2%	30.0%	政策企画課
取組実績			今後の取組						
5	審議会等の委員の委嘱・任命にあたっては、女性委員の構成割合が引き上げられるよう、各課へ働きかけを行った。		審議会などの政策決定の場へ女性の参画拡大や女性委員構成割合引き上げのため、引き続き女性委員の積極的な登用の働きかけに努める。						

基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課	
6	2-1	町職員の管理職（係長以上）に占める女性の割合	23.1%	23.8%	28.7%	29.5%	33.9%	33.7%	25.0%	総務課
	取組実績		今後の取組							
33.7%の内訳は、課長職のうち女性職員の占める割合が、5.2%、課長補佐職に占める割合は、22.2%、係長職に占める割合は、48.1%となっている。			管理職の女性割合を高めるためには、人材育成を計画的に図ることが必要であることから、女性職員に対してリーダー研修などの研修会へ積極的に派遣させることで、管理職として必要な知識と資質を備えた女性職員の育成を図る。							
7	2-1	新たに育児休業を取得した男性職員数	0人	0人	0人	0人	0人	2人	1人	総務課
	取組実績		今後の取組							
取得可能な男性職員に対して、制度説明を行い、取得の勧奨を行った。			全職員に対し、育児休業制度の周知徹底を図るとともに、取得可能職員に対し、制度概要の資料を配布するなど、今後も積極的な育児休業の取得促進に努める。							
8	2-3	自治会などの地域社会で男女の地位が平等になっていると思う住民の割合	23.7%	—	—	—	—	—	30.0%	政策企画課
	取組実績		今後の取組							
区長等の推薦時に女性区長等の積極的な登用の検討依頼や、男女共同参画イベントや男女共同参画コーナーを利用して、地域社会での男女共同参画についての情報提供を行った。（住民アンケートは次期計画策定時のR6に実施予定）			区長会の会議等やふれあい楽集バンク事業、町民参加による美化活動などを通じて、情報提供や意識啓発に取り組む。							
9	3-1	国民健康保険特定健康診査受診率	47.8%	46.8%	21.3%	28.5%	38.5%	40.3%	60.0%	保険年金課
	取組実績		今後の取組							
健診予約は、事前予約制で24時間予約できるWEB予約体制も実施した。また、来年度に40歳となる新たに健診対象者の方へ受診勧奨通知を実施した。			24時間予約できるWEB予約を行うとともに、受診率向上のため引き続き受診勧奨の通知や新たに国民健康保険に加入された方で窓口での特定健康診査受診の勧奨し、受診率の向上に取り組む。							
10	3-1	国民健康保険特定保健指導実施率	39.7%	23.4%	35.3%	21.6%	22.1%	15.4%	60.0%	保険年金課
	取組実績		今後の取組							
健診結果返送の際に、特定保健指導対象者に生活習慣病等の早期改善・治療の重要性などの通知を同封し、対象者に指導を受けるよう促しを行うとともに、未指導者となった対象者へも、電話での案内や再度通知を送るなど啓発を実施した。			対象者には、引き続き保健指導の重要性の周知は続け、受診勧奨や保健指導体制の強化を図るため、特定保健指導を専門業者に外部委託し、受診率の向上に取り組む。							

基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
3-1	大腸がん検診受診率（国民健康保険被保険者）	12.1%	12.0%	12.7%	13.7%	12.7%	13.5%	15.0%	保健福祉センター
11	取組実績		今後の取組						
	がん検診とセットで受診する体制とし、希望者へ検体容器を送付するなどの受診しやすい環境整備を行った。また、令和5年度は、受診勧奨の対象者を国保の方から55歳以上の全住民へと拡大し、受診勧奨通知により個別の受診勧奨を実施した。		今後も感染症対策も考慮して安全に受診できる環境整備をしながら、引き続き受診勧奨を行い、受診機会や体制を検討し、受診率向上に努める。						
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
3-1	乳がん検診受診率（国民健康保険被保険者）	10.2%	12.6%	11.0%	7.0%	5.0%	6.7%	17.0%	保健福祉センター
12	取組実績		今後の取組						
	個別医療機関検診は年間を通して受診できる体制を整え、集団検診としてはレディース検診（子宮がん・乳がん同日で検診）を実施した。また、前年度受診歴のある方への受診券の送付や41歳の方への無料受診券の発行を行った。		今後も感染防止対策や受診しやすい環境を整備し、引き続き個別の受診勧奨を実施し、受診率の向上に取り組む。						
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
3-1	全乳幼児健康診査の受診率	93.9%	98.7%	94.4%	97.7%	97.6%	97.4%	97.2%	子育て支援課
13	取組実績		今後の取組						
	未受診者に対しては、他の乳幼児健診で受診できるよう工夫するなど受診機会の確保をし、さらに電話や訪問により現状を把握し受診率向上に努めた。		今後も健診を主として、未受診者に対しては、あらゆる場所や関連団体の協力を得ながら、切れ目ない支援のために、対象者にとって必要な支援を提供できるよう実施する。						
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
3-2	フリフリグッパ体操・シルバリーハビリ体操などボランティアの人数	237人	246人	250人	246人	258人	266人	270人	保健福祉センター
14	取組実績		今後の取組						
	住民主体の地域介護予防活動を担うボランティアの育成やボランティア活動の支援を行うとともに、ボランティアの募集を図った。		ボランティア開始年齢が高くなってきている状況にあるが、ボランティアを行うことは自身と他者双方の介護予防になることから、今後も住民主体の地域介護予防活動を担うボランティアの育成を継続し、ボランティアの活動を支援し、現ボランティア数の確保を目標に育成、募集をする。						
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
4-1	「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を聞いたことがあり、内容も知っている住民の割合	31.3%	—	—	—	—	—	34.0%	政策企画課
15	取組実績		今後の取組						
	男女共同参画コーナーにおいて、「家事役割分担」に関する情報の掲示や広報紙においてワーク・ライフ・バランスに関する記事の掲載を行った。（住民アンケートは次期計画策定時のR6に実施予定）		ワーク・ライフ・バランスの実現に、広報紙や町公式ホームページでの発信、男女共同参画週間イベントや男女共同参画コーナーを利用して啓発活動に取り組む。						

基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
4-1	「仕事」と「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を両立しているとした住民の割合	17.9%	—	—	—	—	—	20.0%	政策企画課
16	取組実績		今後の取組						
	厚労省等より発行された働き方改革関連情報のポスター、パンフレットを活用して、個々のライフスタイルに合わせて働き方の選択を可能にするなど、町民や事業者に対して啓発を行った。 (住民アンケートは次期計画策定時のR6に実施予定)		国や県からの情報収集に努めるとともに、町民や事業者に対して、ライフスタイルに合わせて、多様な働き方が認められ、働きやすい職場づくりが実現できるよう意識啓発に取り組む。						
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
4-1	職場で男女の地位が平等になっていると思う住民の割合	17.7%	—	—	—	—	—	20.1%	政策企画課
17	取組実績		今後の取組						
	男女平等な職場環境づくりへの取り組みについて、事業所に対してポスター等で意識啓発に努めた。(住民アンケートは次期計画策定時のR6に実施予定)		事業者に対して、継続してポスターやチラシを通じて男女平等な職場環境づくりに向けた意識啓発に取り組む。						
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
4-2	保育所等待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	子育て支援課
18	取組実績		今後の取組						
	町内においては、利用定員を超える希望があった場合には、各園において、随時、受け入れ態勢を図っているため、待機児童は発生していない状況である。		今後も同様の取り組みにより、待機児童が発生しないよう対応を行っている。						
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
4-2	放課後児童クラブ待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	子育て支援課
19	取組実績		今後の取組						
	入級希望があった場合には、その時の空き状況に応じて、他の児童クラブに振り分けているため、待機児童は発生していない状況にある。		今後も利用児童数をしっかり把握し、各児童クラブにバランスよく児童を振り分けることで待機児童が発生しないよう調整する。						
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	担当課
4-2	「家庭での子育ては共同して分担している」とした住民の割合	23.7%	—	—	—	—	—	25.6%	政策企画課
20	取組実績		今後の取組						
	固定的な役割分担意識や男性の仕事優先の考え方の解消を図るため、広報紙等を通じて意識啓発に努めた。(住民アンケートは次期計画策定時のR6に実施予定)		町民に向けた固定的な役割分担意識の意識改革と、子育て関連の情報の提供に努める。						